

## 八光延長チューブ

### 再使用禁止

#### 【禁忌・禁止】

再使用禁止

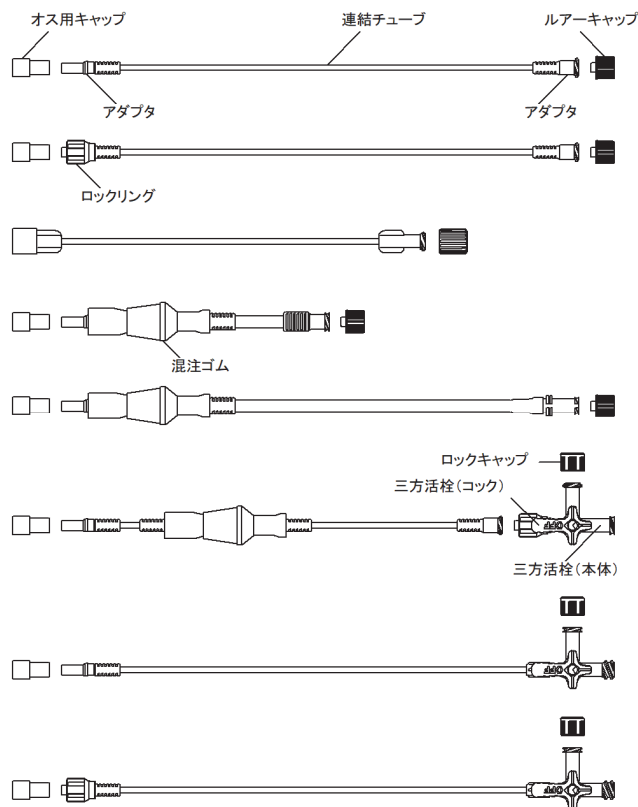
#### <使用方法>

造影剤等の高圧注入に使用しないこと。  
 [破損する可能性がある。]

#### 【形状・構造及び原理等】

\* 本品は連結チューブの両端又は中間にアダプタ等を有し、輸液セット等に接続して、輸液などのラインを延長するチューブである。また ISO594-1/-2 (ルアーコネクタ規格) と、ISO80369-6 (神経麻酔用コネクタ規格) がある。

#### \* <構造図(代表図)>



- 1) 連結チューブ: ポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))
- 2) アダプタ: ポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))、ポリカーボネート又はポリプロピレン
- 3) 三方活栓(本体): ポリカーボネート又はポリプロピレン
- 4) 三方活栓(コック): ポリエチレン
- 5) 混注ゴム: イソプレンゴム

#### 【使用目的又は効果】

輸液などのラインを延長するために用いるチューブである。

#### 【使用方法等】

- 1) 輸液セット等に接続する。
- 2) 三方活栓付の場合、コックの位置が閉塞した流路となる。使用目的により、コック位置を切り替えて使用する。

#### <使用方法等に関連する使用上の注意>

- 1) 使用の際は、汚染に十分注意すること。
- \* 2) 本品のオスメス嵌合部がISO80369-6対応の場合、ISO80369-6に適合する製品と接続すること。
- \* 3) ISO80369-6であるかどうかは、包装表示で確認すること。
- 4) 接続は確実にを行い、使用中は緩みや破損がないことを定期的に確認すること。  
 [液漏れ、空気混入等の可能性がある。]
- 5) 接続する際は、締め過ぎに注意すること。  
 [必要以上の過大な力で締め付けると、クラック(ひび割れ)が生じて、液漏れ、空気混入等の可能性がある。]
- 6) ロックリング付の本品とポリ塩化ビニル製のメスコネクタを接続する場合は、締め過ぎに注意すること。  
 [外れなくなる可能性がある。]
- 7) テーパー部に薬液を付着させないこと。  
 [嵌合部に緩み等が生じる可能性がある。]
- 8) 三方活栓のコックに対し、引き抜く方向に過度な負荷を加えないこと。  
 [コックが外れ、液漏れをおこすおそれがある。]
- 9) 三方活栓L型付の場合は、コックを180°以上回転しないこと。  
 [本体またはコックが破損して、液漏れの可能性がある。]
- 10) 三方活栓から針を用いて混注する場合は、混注用キャップ等を用いるとともに、適切な長さの針を選択して、針先がコック部に接触しないようにすること。  
 [コックにピンホールが生じて、液漏れの可能性がある。]
- 11) 混注ゴム(エラストマーボール)タイプを使用している場合は、以下のことに注意すること。
  - ① 過度な引き抜き圧力を加えないこと。  
 [当該部は非接着なため、接合部が外れる可能性がある。]
  - ② 混注操作前に混注ゴムを消毒用アルコール等で消毒すること。  
 [汚染する可能性がある。]
  - ③ 混注ゴムの同じ場所に再穿刺を行わないこと。  
 [混注ゴムの破損、空気混入、薬液漏れや汚染等の可能性がある。]
- 12) 混注する場合は、混注する薬剤を考慮し、必要な場合はフラッシュを行うなどの適切な方法で行うこと。  
 [混注後薬剤の一部が滞留し、直ちに流れない可能性がある。]
- 13) チューブが折り曲げられたり引っ張られたりした状態で使用しないこと。  
 [チューブ結合部等の破損、外れが生じる可能性がある。]

#### 【使用上の注意】

##### <重要な基本的注意>

- 1) 脂溶性の医薬品ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)が溶出するおそれがあるので注意すること。
- 2) 脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤などを含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、三方活栓及びコネクタのひび割れについて注意すること。  
 [薬液により三方活栓及びアダプタにひび割れが生じ、血液及び薬液漏れ、空気混入等の可能性がある。特に、全身麻酔剤、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず患者への重篤な影響を生じることがある。]

##### <不具合・有害事象>

手技に伴い、一般的な不具合や有害事象が発生する恐れがある。有害事象が発生した場合は術者の知見に基づき、適切な処置を行うこと。

- 1) 重大な不具合
  - ① 本品破損
  - ② 液漏れ

2) 重大な有害事象

- ① 感染
- ② 空気塞栓

3) その他の有害事象

- ① アレルギー反応

**【保管方法及び有効期間等】**

<保管方法>

水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

<有効期間>

箱に記載している使用期限を参照のこと。(自己認証による)

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

<製造販売業者>

株式会社八光  
TEL 026-275-0121

<製造業者>

株式会社八光

販売窓口:

東京都文京区本郷三丁目 42-6  
TEL 03-5804-8500